



世帯数	5,962戸
人口	14,175人
(令和1.9.1現在)	

### 寿地区福祉ひろばを「ご存知ですか？」

寿地区福祉ひろばは、寿地区地域づくりセンター、寿公民館と同じ敷地にあり、寿体育館の北側にあります。福祉ひろばは松本市の施設で、松本市35地区に36館ある中の一つです。

寿地区福祉ひろばは、みんなが交流できる縁側機能を持ち、健康づくり、生きがいづくりをメインとした事業が展開されています。また、寿公民館は、生涯学習を担い運動会や文化祭、そして子どもたちとの交流など、地域を活性化しています。

福祉ひろばと公民館それぞれの機能を生かし関わりあうことで、地域づくりセンターと三位一体となり、住みよい寿をめざし寿地区地域づくり協議会と日々話し合いを重ねています。

### ひろばの事業とは

「高齢者は寿の財産、子どもは寿の宝」をモットーに幅広い世代の皆さんをつなぎ、参加される皆さんが元氣になれたり、学んだりできる内容になるよう事業を考えています。現在、核家族化が進み、おじいちゃんおばあちゃんから知恵や技術、優しさや厳しさなどを伝える機会が少なくなりました。人間としての豊かさが薄くならないよう、関わる機会を大切に考えて交流を多く事業に取り入れています。

### 【福祉ひろば看板事業】

健康づくりや皆さんの交流の場で、ふれあい健康教室やひろば喫茶「ののほな」があります。

送迎ボランティアの皆さんの協力により、自宅から遠い方や、足の悪い方も参加でき喜ばれています。



ふれあい健康教室

この事業は多くのボランティアの皆さんの協力で支えられています。

### 【男性のための事業】

男性が地域デビューしやすくするため、男性だけのスポーツ吹矢、体操教室、親父バンド、鉦の会があります。

それぞれ気軽に集える場になり、技を磨き身体を鍛え楽しんでいきます。

### 【福祉ひろば新事業】

声が出にくい、むせやすい、足腰の衰えを感じている方のための事業「動いて、歌って、お茶しましょう」を4月からスタートしました。身体を温め、のどを鍛える体操、エルダーシステムを利用することで、大型スクリーンの映像や音楽に合わせて、楽しく動くだけ。その後はみんなまで歌って、おいしいコーヒーをいただきます。「楽しい！」と大好評です。「楽しい！」と大好評です。まずは一見の価値がありますよ。

### 【介護予防事業】

主に、わくわくはなまる塾や、るんるん元氣塾があります。元氣なうちから正しく運動の仕方を学び、繰り返し参加することで運動習慣を身に



つけ、生き生きとした暮らしができるよう応援します。

### 【地域住民みんなの集い】

寿に住む皆さんの中には、高齢者や障がいのある方や子どもたちもいます。みんなの交流の場として「福祉の喫茶店」を寿体育館で6月に開催しました。フラダンスの演舞や体験、寿小学校児童の「はねっこおどり」の披露もあり、みんな笑顔になりました。



福祉の喫茶店

9月18日には福祉の文化祭が行われました。

### 【ひろば20周年記念事業】

今年の10月8日開催予定の「ひろば祭り」は、ひろば事

業の紹介や発表会があります。そして今回は、ひろば20周年の記念誌を発刊予定です。希望者は福祉ひろばまでお問い合わせください。

### 【その他の事業】

ひろば事業は記載の他にもたくさんあります。毎月行事予定はひろばだよりを、目玉事業の報告を載せているハートチャイムも回覧していますのでご覧ください。

興味のある事業を見つけたら、お気軽にお問い合わせください。また、ご参加してみてください。

### ★寿地区福祉ひろば

元氣なコーディネーター3人と多くのサポーターメンバーで「福祉の拠点」として力を合わせて楽しく活動しています。ぜひ、お立ち寄りください。



【ひろばサポーター】 遠藤勝弘

# わがまちのお祭り 豊町町会

2019年7月27日(土)

にハートラインまつりが開催されました。地域の方や地域以外の方も来てくださって大変盛り上がりました。

天気の方が怪しかったのですが、雨が降ることなく最後までお祭りを楽しむことができました。

公民館では、歌自慢やマジック、楽器の生演奏などが行われ、小さな子どもから大人までさまざまな方が楽しまれていました。

ハートラインさんによる豚汁の無料配布もあり、かき氷やフランクなども販売されて規模としては小さいですが、来られた方々がお祭りを楽しまれていたので、大成功だと思えます。ハートライン松本さんが主催のお祭りでしたが、皆さん終始笑顔で



ハートラインまつり

した。今後も地域のお祭りとして続けていき、地域の方々や笑顔があふれる楽しい行事にしてほしいです。地域以外の方も越しいただいて楽しいお祭りになりました。



祭り

2019年7月28日(日)には朝から子ども達が笹の飾りや色紙で作りました。みんなで楽しそうに色紙を切ったり折ったりして、飾りを作った後は笹に飾り付けしました。スイカ割りもあって子ども達の楽しそうな声が響き渡りました。今年も、はりにあふれるお祭りになりました。はりにあふれるお祭りが、かかこは、耐久性が悪く練り歩くことが困難な



め、今年のかかしを作ることにしました。難しいところは大人が手伝って、みんなで楽しく作ることができました。

この日は天候に恵まれ、夜には花火をして充実したひとときを過ごしました。

## 寿公民館トイレ改修工事のお知らせ

寿公民館トイレ改修工事の実施に伴い、工事業者が次のとおり決定しました。

①建築主体工事  
②電気設備工事  
③機械設備工事

（壁・床・天井改修、間仕切・トイレブースの更新等）  
株式会社 中島

（配線改修、照明器具更新等）  
大同電気株式会社

（給排水設備改修、便器更新等）  
株式会社サムテック

公民館、地域づくりセンター及び福祉ひろばの業務は、工事期間中も継続します。寿公民館北玄関東側に簡易トイレをご用意しておりますので、ご利用ください。

## 「竹淵町会情報メール配信システム」運用開始

竹淵町会では、7月1日から町会独自で情報メール配信システムの運用を開始しました。

「あんしんメール」というアプリを使用して、町会情報を配信するものです。寿地区では初めての取り組みです。

町会長によると、導入理由は、まずは町会の無線放送施設が老朽化しているが、今後の更新・メンテナンス経費が膨大なものになることが予想され、負担が大きいこと。また、市で設置している防災無線は、普段の放送には使うことができないこと。そのほかにも、家の中では聞きづらく、場所によっては音が大きすぎること等の課題も多いことがあります。

これらを解決する一つの手段が、メール配信システムの導入というわけです。

導入の「あんしんメール」は、すでに寿小学校、筑摩野中のPTAでも導入実績がある上、メーカーの方針により、地元企業の一定の協力で無料使用が実現できているとのこと。また、個人のメールアドレスを町会側で管理する必要がないなどのメリットもあり

ます。しかし、利用するためにはメール配信を受ける側が、アプリをダウンロードし、登録する必要があります。



町会では、「竹淵町会情報メール」登録の仕方のチラシを配布しているほか、7月6日に竹淵公民館でシステム登録相談会を開催し、登録方法を個別に説明するなどしており、多くの住民の登録を呼びかけています。

今後は、本来の目的の地域の防災のための情報発信に限らず、使用権限を分散し常会または町会委員会でも利用の可能性を探りたいほか、催しものお知らせ等幅広い活用を検討しております。

また、現状では個人のパソコンでシステム管理を行っていますが、町会で管理用パソコンを導入して、一元的に管理していきたいと検討しております。高度利用を期待しております。

【館報編集委員 上平貴明】